施 策 分 野 評 価 シ ー ト

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	1	誰もが健康ですこやかに暮らせるまち
施策分野	6	高齢者福祉
10年後のめざす姿		誰もがその有する能力に応じ、自分らしい生活を送るとともに、住み慣れた地域で生活を継続し、必要に応じた包括的なサービスが行き届いています。

2 施策数値指標

指標名	現状値	実 績				令和7年度 目標値（実績値）
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
要介護認定率の伸び率（65歳以上）	0.18%増（令和元年度）	1.88%増	2.75%増	3.12%増		2.76%増→1.93%増（ ）
通いの場の数	11か所（令和元年度）	15か所	18か所	21か所		50か所（ ）
説明・コメント	※介護予防施策を実施しない場合の令和7年度（令和12年度）の伸び率推計値は2.76%増（4.71%増）、それを1.93%増（3.30%増）の伸び率に抑え、緩やかにする目標値					-

3 予算・決算の状況

（単位：千円）

予 算 額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	45,683	27,131	34,323		
国庫支出金	51,627	54,627	57,768		
都支出金	29,441	29,536	58,104		
地方債及びその他の特定財源	53,862	49,822	111,371		
総事業費（計）	180,613	161,116	261,566	0	0

（単位：千円）

決 算 額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	44,939	26,890	32,761		
国庫支出金	52,172	54,666	56,840		
都支出金	28,553	28,487	108,020		
地方債及びその他の特定財源	47,607	58,643	71,168		
総事業費（計）	173,271	168,686	268,789	0	0

施策の評価（分析）

サウンディング型市場調査を踏まえ、高齢者福祉センター改修工事に着手し、当初の計画から変更等はあったが、着実に進捗していることは評価できる。他にはない、多世代交流施設となるよう期待している。

4 重点施策

担当課	高齢者福祉課
基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり

施策	1	高齢者の生きがいづくり

年度	【進捗状況】(主な取組等)	【評価・査定】
令和3年度	新たに高齢者の居場所づくり事業を開始したことで、事業による居場所が1か所開設され、高齢者が気軽に集い主体的に運営に参画している。また感染症対策を徹底した上で、介護予防リーダーを養成し、通いの場等の活動を促進した。	**施策数値指標にもあるように、通いの場の数が増え、「高齢者の居場所づくり事業」の成果がある。寿楽については地域の課題を解決する新たな拠点として、補助金をうまく活用して改修することを望む。**
令和4年度	高齢者の居場所づくり事業による居場所が2か所開設され、高齢者が気軽に集い主体的に運営に参画している。また感染症対策を徹底しながら、介護予防リーダーを養成し、通いの場等の活動を促進した。	**通いの場の数及び活動が着実に進捗している。今後、介護予防について、どのような影響をもたらしているのか、アウトカムの視点で把握する必要がある。**
令和5年度	高齢者の居場所づくり事業による居場所が新たに2か所開設され計5か所となり、高齢者が気軽に集い主体的に運営に参画している。また、通いの場等の地区状況に合わせて介護予防リーダーを養成し、通いの場等の活動を促進した。	**居場所づくり事業、介護予防リーダーの養成など、着実に成果が見え、高齢者等の交流が図られている。引き続き、介護予防の促進に努められたい。**
令和6年度		
令和7年度		

5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
1	高齢者の居場所づくり事業	高齢者福祉課	1,140	893	1,147
	事務事業の概要		在宅高齢者の閉じこもり防止や孤独解消のため、町に住む高齢者や子ども等の地域住民が気軽に立ち寄ることのできる地域交流拠点として、「ふらっとまちかど」「寄り合いハウスいこい」を設置している。高齢者等が地域で活躍できる場づくりやボランティアによる企画・運営、さらに見守りができる高齢者の居場所づくり体制の構築をめざす。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
2	高齢者在宅福祉サービス事務	高齢者福祉課	4,155	1,875	4,214
	事務事業の概要		在宅で安心して暮らしていくためのサービスを必要としている高齢者が、各種の生活支援サービスを受けることで、健全で安らかな在宅生活を送ることができるよう支援を実施。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
はあ-	包括的支援事業(認知症・在宅医療と介護連携・生活支援サービス体制整備)	高齢者福祉課	27,778	22,668	25,507
	事務事業の概要		平成27年度からの介護保険制度改正に伴い、市町村で新たなサービスを展開するため、生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置を平成27年度から実施している。また、平成30年4月までに市町村で実施しなければならない事業であった認知症施策と在宅医療介護連携については継続的に推進する必要がある。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
4	地域包括支援センター事業	高齢者福祉課	48,701	48,886	55,649
	事務事業の概要		地域包括支援センターの主な機能は、1.新予防給付と介護予防事業のマネジメントを一体的に実施し、要介護状態となることの予防と悪化予防をはかる介護予防マネジメント、2.住民の各種相談を幅広く受け付け、制度の垣根にとらわれない横断的・多面的支援を行う総合相談・支援、3.高齢者に対する虐待の防止や早期発見のための事業及びその他の権利擁護を行う権利擁護事業、4.高齢者一人ひとりの状態の変化に対応した長期ケアマネジメントを後方支援する包括的・継続的マネジメントがあり、それぞれの業務を各種専門職を中心に対応する。		

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和5年度 当初予算額
5	介護予防・日常生活支援総合事業	高齢者福祉課	98,418	101,212	109,602
			事務事業の概要		
			総合事業では、団塊の世代が75歳以上となる令和7年に向け、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるように市町村が中心となり介護だけでなく、医療や予防、生活支援、住まいを包括的に提供する地域包括ケアシステムの構築の一端を担っていく。地域住民と協働により高齢者を地域で支えるという仕組・体制を構築していく。また、高齢者自らがサービスの受け手から地域住民とともにサービスの担い手になり高齢者を支えるという意識の変革を図っていく。		
No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和5年度 当初予算額
6	高齢者福祉センター寿楽改修	高齢者福祉課	81,374	93,255	790,511
			事務事業の概要	再掲として、７－４公共施設マネジメントに記載あり	
			平成5年12月に高齢者福祉センター寿楽を開設。それ以後、空調の大規模な改修工事は行っていない。施設の老朽化により、大規模な改修が必須となっているため、高齢者福祉センターとしての機能を維持しつつ、入浴設備を廃止し、高齢者在宅サービスセンターを多世代間の交流に活用できる機能へ変更、第五小学校の学童保育クラブを移転できる機能を有した施設への改修を行う。		
合 計 額			261,566	268,789	900,113